

ルネサスシングルチップ 8 ビットマイクロコンピュータ  
M37540M2-XXXSP/FP/GP  
マスク化確認書

ROM 番号	
--------	--

受付欄	年 月 日
	課長印 担当者印

(注) 印をすべて記入ください。

貴社 記入欄	貴社名	TEL 殿 ( )	発行 印	課長印	担当者印
	発行日	年 月 日			

1. ご確認表

発注される品種名および提出いただく EPROM、またはフロッピーディスクを指定してください。

EPROM で発注される場合は 1 パターン当たり EPROM が 3 セット必要です。フロッピーディスクで発注される場合 1 パターン当たりフロッピーディスクが 1 枚必要になります。

EPROM の場合

当社では提出いただいた 3 セットの EPROM の内、少なくとも 2 セットの内容が同一であれば、この内容のデータによってマスク作成を行います。したがって、このデータと生産される製品に焼きつけられる ROM データが異なる場合のみ当社はその責を負います。提出いただく EPROM データの内容については十分に確認をお願いします。

マイクロコンピュータ型名 M37540M2-XXXSP M37540M2-XXXFP M37540M2-XXXGP

EPROM の全領域のチェックサムコード     (16 進表示)

EPROM の種類

2 7 C 2 5 6	2 7 C 5 1 2
<p>アドレス</p> <p>0000<sub>16</sub> 製品名 M37540M2- の ASCII コードを入れる領域</p> <p>000F<sub>16</sub></p> <p>0010<sub>16</sub></p> <p>607F<sub>16</sub></p> <p>6080<sub>16</sub></p> <p>データ ROM(8K-130)バイト</p> <p>7FFD<sub>16</sub></p> <p>7FFE<sub>16</sub></p> <p>7FFF<sub>16</sub></p>	<p>アドレス</p> <p>0000<sub>16</sub> 製品名 M37540M2- の ASCII コードを入れる領域</p> <p>000F<sub>16</sub></p> <p>0010<sub>16</sub></p> <p>E07F<sub>16</sub></p> <p>E080<sub>16</sub></p> <p>データ ROM(8K-130)バイト</p> <p>FFFD<sub>16</sub></p> <p>FFFE<sub>16</sub></p> <p>FFFF<sub>16</sub></p>

(ご注意)

フロッピーディスクで提出される場合は左記の製品型名領域にはデータを入れないでください。

マイクロコンピュータのアドレス空間上、内部 ROM 領域とし E080<sub>16</sub> ~ FFFD<sub>16</sub> 番地以外は使用することができません。なお、本製品のリセットベクトルは FFFC<sub>16</sub>、FFFD<sub>16</sub> 番地に格納します。

- 斜線部分には“FF<sub>16</sub>”を入れてください。
- 0000<sub>16</sub> ~ 000F<sub>16</sub> 番地は製品型名のデータ格納領域です。  
M37540M2- の ASCII コードを右記に示しますので、0000<sub>16</sub> ~ 000F<sub>16</sub> 番地には必ず右記のデータを書き込んでください。  
番地、データとも 16 進表記です。

アドレス	アドレス
0000 <sub>16</sub> M =4D <sub>16</sub>	0008 <sub>16</sub> - =2D <sub>16</sub>
0001 <sub>16</sub> 3 =33 <sub>16</sub>	0009 <sub>16</sub> FF <sub>16</sub>
0002 <sub>16</sub> 7 =37 <sub>16</sub>	000A <sub>16</sub> FF <sub>16</sub>
0003 <sub>16</sub> 5 =35 <sub>16</sub>	000B <sub>16</sub> FF <sub>16</sub>
0004 <sub>16</sub> 4 =34 <sub>16</sub>	000C <sub>16</sub> FF <sub>16</sub>
0005 <sub>16</sub> 0 =30 <sub>16</sub>	000D <sub>16</sub> FF <sub>16</sub>
0006 <sub>16</sub> M =4D <sub>16</sub>	000E <sub>16</sub> FF <sub>16</sub>
0007 <sub>16</sub> 2 =32 <sub>16</sub>	000F <sub>16</sub> FF <sub>16</sub>

ルネサスシングルチップ 8 ビットマイクロコンピュータ  
M37540M2-XXXSP/FP/GP  
マスク化確認書

アセンブラソースプログラムの先頭に、書き込む EPROM の種類別に下表に示す疑似命令を記述することにより、EPROM の 0000<sub>16</sub> ~ 000F<sub>16</sub> 番地に型名の ASCII コードを書き込むことができますのでご利用ください。

EPROM の種類	27C256	27C512
ソースプログラムへの記述	* = \$8000 .BYTE M37540M2-	* = \$0000 .BYTE M37540M2-

(注) EPROM に書き込まれた型名とマスク化確認書の型名が一致しない場合、ROM 処理ができませんので正確に型名記入をお願いします。

#### フロッピーディスクの場合

当社では提出いただいたフロッピーディスクのファイルの内、マスクファイル生成ユーティリティで生成されたマスクファイル処理してマスク化を行います。したがって、このマスクファイルと生成される製品に焼きつけられる ROM データが異なる場合のみ当社はその責を負います。提出いただくマスクファイルの内容については十分に確認をお願いします。

フロッピーディスクは 3.5"2HD/IBMformat で用意してください。また、フロッピーディスクに収めるマスクファイルは一つだけにしてください。

マイクロコンピュータ型名      M37540M2-XXXSP      M37540M2-XXXFP      M37540M2-XXXGP

ファイルコード                   (16 進表示)

マスクファイル名                   .MSK(英数字 8 桁)

(ご注意) フロッピーディスクで提出される場合は、製品型名を入れないでください。

下記の ROM データ領域以外には、データを入れないでください。

ROM データ領域 ..... E080<sub>16</sub> ~ FFFD<sub>16</sub> 番地

## 2. マーク指定

マーク指定はパッケージの形状により異なります。別紙のマーク指定書(パッケージ別)にご記入の上、本マスク化確認書に添付して提出ください。

M37540M2-XXXSP の場合は 32P4B の、M37540M2-XXXFP の場合は 36P2R-A の、M37540M2-XXXGP の場合は 32P6U-A のマーク指定書を提出ください。

## ルネサスシングルチップ 8 ビットマイクロコンピュータ M37540M2-XXXSP/FP/GP マスク化確認書

3. 使用条件について

当社製品開発の参考とさせていただきますので、発注される製品の使用条件について質問します。

(1) 源発振は次のどの条件で使用されますか。

- |   |     |  |
|---|-----|--|
| セラミック共振子<br>RC 発振<br>外部クロック入力<br>水晶発振<br>その他( )<br>リングオシレータ | } → | その周波数は何 MHz ですか？<br>$f(X_{IN}) =$ <input type="text"/> MHz |
|---|-----|--|

(2) 電源電圧は何 V で使用されますか？

標準 =  V      最小 =  V      最大 =  V

(3) 周囲温度は何 で使用されますか？

標準 =       最小 =       最大 =

(4) クロック分周比はどの条件で使用されますか？

倍速モード ( $f( )=f(X_{IN})$ )                  高速モード ( $f( )=f(X_{IN})/2$ )  
中速モード ( $f( )=f(X_{IN})/8$ )                リングオシレータから供給

(5) タイマについて質問させていただきます。

( ) どのタイマを使用されますか？

タイマ 1                  タイマ A                  タイマ X                  タイマ Y                  タイマ Z

( ) 使用しているタイマのカウントソースはどの条件で使用されますか？

・タイマ X	$f(X_{IN})/16$	$f(X_{IN})/2$	$f(X_{IN})$
・タイマ Y	$f(X_{IN})/16$	$f(X_{IN})/2$	リングオシレータ出力
・タイマ Z	$f(X_{IN})/16$	$f(X_{IN})/2$	タイマ Y アンダフロー

( ) どの動作モードを使用されていますか？

・タイマ A	タイマモード	周期測定モード	イベントカウンタモード	パルス幅 HL 連続測定モード
・タイマ X	タイマモード	パルス出力モード	イベントカウンタモード	パルス幅測定モード
・タイマ Y	タイマモード	プログラマブル波形発生モード		
・タイマ Z	タイマモード	プログラマブル波形発生モード	プログラマブルワンショット発生モード	プログラマブルウェイトワンショット発生モード

(6) シリアル I/O は使用されていますか？

使用している                  使用していない

[ シリアル I/O1 ( クロック同期形シリアル I/O1 モード      非同期形シリアル I/O1(UART)モード )  
シリアル I/O2 ]

(7) A/D 変換器は使用されていますか？

使用している                  使用していない

(8) WDT は使用されていますか？

使用している                  使用していない

(9) 発振停止検出回路は使用されていますか？

使用している                  使用していない

ご協力ありがとうございました。

4. 特記事項